



学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和3年9月1日  
横浜市立三ツ境小学校  
学校長 遠山 松雄



# 三ツ境小だより 9月号



本日より学校再開

校長 遠山 松雄

立秋を過ぎたものの、まだまだ残暑が続いています。行き帰りの通勤の道々で虫の声が、秋の訪れを知らせてくれるようです。

臨時休業期間が終わり、今日から学校が再開しました。夏休み中の8月2日、神奈川県に三度目の緊急事態宣言が出され、感染拡大が止まらない状況が続いています。変異株の影響は計り知れないものがあり、私たちの生活を脅かしています。本日より13日まで分散登校によって教育活動を継続していく予定です。1日にタブレット端末を持ち帰り、半数が学校で授業を受け、半数が家庭学習を行う形での分散登校になります。保護者の皆様には、先週から連続してメールにてお知らせをするような形になり心苦しく思っております。夏季休業中の緊急な対応ですのでご容赦ください。今日からの分散登校についても、今後の状況によっては延長等も考えられます。今後もメール配信等で情報をお知らせすることが出てくると思いますのでご承知おきください。

教育委員会より次のような内容の通知が来ています。

新型コロナウイルス感染症対策において、健康観察は大変重要であり、有効な対策です。保護者の皆様にも、感染爆発の現状と、健康観察の重要性・有効性を御理解いただき、御協力いただくよう、周知徹底を図ってください。

最近では、わずかな風邪症状（咳・喉の痛み、頭痛・発熱、腹痛、倦怠感等）でも、検査をしてみると陽性であることが数多く見られます。より慎重な健康観察が求められ、少しでも本人や同居の方に風邪症状が見られる場合には登校を控え、医療機関を受診するようお願いください。

学校でもこれまで通り感染拡大防止対策を取りながら教育活動を継続していきます。臨時休業中に健康観察にご協力いただきましたが、今後も継続して丁寧なお子さんの健康観察をよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に感染する、濃厚接触者となる、感染不安により欠席する、家庭の状況により緊急受け入れを選択する、ワクチン接種の有無など、子ども達がおかれる状況は様々です。新型コロナウイルスへの感染は誰にでも生じうるものであり、感染者やその家族等に対する差別的な取扱いや誹謗中傷など、差別や偏見につながるような行為は、決して許されることではありません。感染拡大が危機的な状況になり、感染のリスクが自分の身に迫ったときほど、偏見や差別は起きやすいと考えます。引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する確かな情報をもとに、発達段階に応じた指導を行うなど、偏見や差別が生じないように十分配慮していきたいと思っております。それぞれのご家庭でも同様な対応をよろしく願いいたします。

分散登校中、初日は午前中の2交代での登校になります。2日～13日は学級をほぼ半分に分けて「登校して学習する日」と「家庭で学習する日」を1日おきに交互に設定していきます。いずれも14:30までが学習の時間となります。「家庭で学習する日」は14:30まで家庭で過ごすよう学校でも指導していきます。ご家庭でも同様のご指導をお願いいたします。また、再開後に担任との面談等を通して子ども達の心理面のケアも進めていきます。心配なことがありましたら遠慮なく学校にご相談ください。

休み中には、公園の遊び方等で地域の皆様にはいろいろご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。繰り返し放課後の遊び方について指導を行って参ります。今後も子どもたちへの温かい見守りや声かけをしていただきますようよろしくお願いいたします。

#### 【行事変更のお知らせ】

お知らせしました通り、13日(月)までABグループ別の分散登校を行います。分散登校の期間等が変更される場合は、改めてお知らせいたします。

お知らせしていましたが、9月11日(土)に予定しておりました「土曜参観日」は感染拡大防止の観点から中止となり、お休みとなります。13日(月)はBグループの登校日です。

また、10月23日(土)に予定しておりました「防災の日」も、22日(金)に変更し、25日(月)は通常の登校日となります。

#### 【給食の持ち物のお知らせ】

分散登校により、ABグループ両方で給食当番を行います。ワゴンを使用する個別級と1～3年生は白衣を使用し、4～6年生はエプロンを着用して給食当番を行います。給食帽子、マスク等は引き続き使用します。ご準備をよろしくお願いいたします。

#### 専任 吉田より

夏休みだからこそできること、何か1つでも取り組むことができたでしょうか。子どもたちは体験を通して、考え、学び、成長していきます。ひとつひとつの体験全てが子どもたちの成長につながると考え、学校では、感染症への意識はこれまで以上に高めつつも、今できること、大切にしていきたいことをしっかりと考えて、活動を計画していきます。

夏休みは、楽しみがある反面、友達とのかかわりが少なくなる期間でもあります。学校が始まることを楽しみに思うと同時に、多くの友達との再会に緊張する気持ちも出てくるかもしれません。夏休み明けは、生活の仕方に変化が生まれる節目ともいえます。さらに臨時休校が重なり、子どもたちの心の内はどうかと、心配は募るばかりです。

子どもたちの様子を丁寧に見守りながら、学校生活をサポートしていきたいと思えます。夏休み期間中の様子など相談したいことがありましたら、個人面談等を待たずに、遠慮なく担任や専任にお知らせください。